



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社パリミキホールディングス

コード番号 7455 URL <https://www.paris-miki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 将広

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理担当 (氏名) 加山 雄治 TEL 03-6432-0732

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無 (当社ウェブサイトにて決算説明の動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	25,220	6.7	1,578	283.6	2,068	172.0	1,518	243.9
2023年3月期第2四半期	23,647	8.1	411	—	760	—	441	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,765百万円 (92.5%) 2023年3月期第2四半期 917百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	29.89	29.62
2023年3月期第2四半期	8.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	39,316	29,817	74.1	573.29
2023年3月期	37,371	28,204	73.8	542.74

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 29,126百万円 2023年3月期 27,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2024年3月期	—	3.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,400	4.2	1,800	145.8	2,310	91.4	1,615	221.8	31.79

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	56,057,474株	2023年3月期	56,057,474株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	5,251,962株	2023年3月期	5,251,589株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	50,805,727株	2023年3月期2Q	50,806,171株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、発表日現在で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の経済状況は、経済活動が正常化し、景気も緩やかに回復基調が継続していたものと見られています。

小売業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行以降、人々の行動が活発になることで、購買の目的も増え、消費意欲も持ち直してきていると思われまます。

当社グループにおきましても、コロナ禍では客足が減少し苦戦していたサングラスや補聴器の売上が好調であり、特に夏場に向けて商品の準備（調達）や販促にも力を入れていたサングラスの売上が大幅に伸長、またインバウンド需要の拡大に伴い免税売上も回復し、国内売上高の増加に貢献しました。

海外事業におきましては、全ての法人がコロナ禍以前の営業ができる状態に戻ってはいるものの、業績の回復が遅れている法人もあり、人手不足の問題や、他のテナントが出揃わずオープン予定が延期となる新店があるなど、費用負担が重い状態であることから、海外法人合計では営業赤字となっております。しかし、人手不足も徐々に解消されつつありますので、さらに客足が戻れば改善してくるものと見ています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高25,220百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益1,578百万円（前年同期比283.6%増）、経常利益2,068百万円（前年同期比172.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,518百万円（前年同期比243.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

〔日本事業〕

主要子会社の㈱パリミキにおきましては、2023年4月1日より新経営体制となって以降、さらなる利益体質にすべく取り組んでおり、不採算店の退店や移転統合を伴う出店、改装などについては従来通り計画的な投資を行いながら、投資回収計画についても精度を高め慎重に検討し進めてまいりました。

売上高については、人々の行動が活発になったことに伴って、サングラスの伸びが堅調であったことが全体を牽引しました。サングラスについてはマーケットの需要拡大も視野に入れ、商品の準備をしていたことと、暑い日々が続いたなかで、機会損失を最小限に抑えられたことでさらに良い結果につながったと見ています。

また、コロナ禍では客足が減少し、売上の落ち込みが大きかった補聴器につきましても、順調に回復していることと、さらにマーケットも拡大しつつあるなか、補聴器の装用を始めやすい月々の貸出サービスについても堅調に伸長しております。

販売費及び一般管理費につきましても、前年同期間に行ったTVCMを一部デジタル広告にシフトするなど、内容を見直したことにより広告宣伝費が抑えられたこと、また先に述べました通り、設備活動費については精査して投資を行っていることもあり減少しております。

商品戦略としましては、主に団塊ジュニア世代に向けた累進レンズ（遠近）の提案に積極的に取り組み、お求めやすい価格、使用シーンに合わせた多様な提案を行ってまいりましたが、引き続きその強みを発信していく予定です。

この結果、日本の売上高は22,275百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益1,591百万円（前年同期比300.2%増）となりました。

〔海外事業〕

海外子会社におきましては、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、全ての法人が通常の営業ができる状態となっております。しかしながら、国によってはコロナ禍からの業績回復が遅れている法人や、人材確保に課題のある法人では、人件費の増加がみられるなど、様々なコストが増えたことで、海外法人合計では営業赤字となりました。

また、将来性を見据えて眼科病院とのコラボレーションを展開しているフィリピン法人やカンボジア法人につきましても、入居する商業施設のテナントが出揃わずオープン予定が延期になるなどしたため、売上に先行して費用が発生するなど、利益面で貢献するまでにはもう少しばかり時間がかかりそうな見込みです。

この結果、海外の売上高は3,027百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント損失13百万円（前年同四半期セグメント利益13百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債および純資産の状況)

総資産は前連結会計年度末に比べ1,944百万円増加して39,316百万円となりました。これは主に流動資産における現金及び預金が986百万円、受取手形及び売掛金が239百万円、商品及び製品が339百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ331百万円増加して9,498百万円となりました。これは主に流動負債における契約負債が81百万円、その他が211百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ1,613百万円増加して29,817百万円となりました。これは主に利益剰余金が1,366百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に対して798百万円増加し、11,206百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は1,654百万円（前年同四半期は717百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,996百万円によるものです。

投資活動の結果使用した資金は723百万円（前年同四半期は1,424百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出567百万円によるものです。

財務活動の結果使用した資金は310百万円（前年同四半期は205百万円の使用）となりました。これは主に短期借入金の純増減額115百万円と配当金の支払額151百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月12日に公表しました2024年3月期通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2023年11月8日公表の「通期連結業績予想の修正、および営業外収益の計上見込みに関するお知らせ」をご参照ください。

当連結会計年度の業績予想につきましては、売上高49,400百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益1,800百万円（前年同期比145.8%増）、経常利益2,310百万円（前年同期比91.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,615百万円（前年同期比221.8%増）を予想しております。

なお、今後さまざまな要因により、修正が必要と判断した場合には速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,858	13,844
受取手形及び売掛金	2,784	3,024
商品及び製品	7,517	7,857
原材料及び貯蔵品	683	621
その他	1,389	1,491
貸倒引当金	△121	△125
流動資産合計	25,111	26,712
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,620	3,657
機械及び装置（純額）	23	20
工具、器具及び備品（純額）	982	1,095
土地	653	653
建設仮勘定	5	83
その他（純額）	43	35
有形固定資産合計	5,328	5,546
無形固定資産	597	618
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,527	4,437
建設協力金	279	333
繰延税金資産	144	127
その他	1,528	1,686
貸倒引当金	△85	△85
関係会社投資損失引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	6,334	6,438
固定資産合計	12,260	12,603
資産合計	37,371	39,316

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,336	1,351
短期借入金	1,954	1,844
未払金	1,988	2,017
未払法人税等	469	493
契約負債	568	650
賞与引当金	230	294
店舗閉鎖損失引当金	12	0
その他	1,506	1,717
流動負債合計	8,067	8,370
固定負債		
退職給付に係る負債	44	49
繰延税金負債	81	108
資産除去債務	556	577
その他	416	391
固定負債合計	1,099	1,127
負債合計	9,167	9,498
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,901	5,901
資本剰余金	6,829	6,829
利益剰余金	22,799	24,165
自己株式	△8,692	△8,692
株主資本合計	26,837	28,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220	319
為替換算調整勘定	517	602
その他の包括利益累計額合計	737	922
新株予約権	170	182
非支配株主持分	459	509
純資産合計	28,204	29,817
負債純資産合計	37,371	39,316

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	23,647	25,220
売上原価	7,527	7,768
売上総利益	16,119	17,452
販売費及び一般管理費	15,707	15,873
営業利益	411	1,578
営業外収益		
受取利息	19	37
為替差益	286	373
受取手数料	5	4
貯蔵品売却益	0	16
協賛金収入	—	10
助成金収入	5	1
その他	76	78
営業外収益合計	393	522
営業外費用		
支払利息	6	5
支払手数料	2	2
その他	35	25
営業外費用合計	44	32
経常利益	760	2,068
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	30	35
減損損失	60	32
店舗解約損失金	—	4
特別損失合計	90	72
税金等調整前四半期純利益	670	1,996
法人税等	191	446
四半期純利益	478	1,549
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	441	1,518

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	478	1,549
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	99
為替換算調整勘定	442	115
その他の包括利益合計	438	215
四半期包括利益	917	1,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	825	1,704
非支配株主に係る四半期包括利益	91	61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	670	1,996
減価償却費及びその他の償却費	395	476
減損損失	60	32
賞与引当金の増減額（△は減少）	12	63
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△2	△2
受取利息及び受取配当金	△21	△40
支払利息	6	5
為替差損益（△は益）	△205	△317
有形固定資産除売却損益（△は益）	29	34
助成金収入	△5	△1
売上債権の増減額（△は増加）	△19	△186
棚卸資産の増減額（△は増加）	31	△179
その他の資産の増減額（△は増加）	△74	△27
仕入債務の増減額（△は減少）	△21	△63
その他の負債の増減額（△は減少）	16	273
その他	8	△20
小計	878	2,043
利息及び配当金の受取額	21	40
利息の支払額	△6	△5
法人税等の支払額	△181	△425
助成金の受取額	5	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	717	1,654
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△293	△68
有形固定資産の取得による支出	△875	△567
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
敷金及び保証金の差入による支出	△32	△59
敷金及び保証金の回収による収入	92	174
建設協力金の回収による収入	12	13
その他	△328	△214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,424	△723
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△36	△115
配当金の支払額	△151	△151
非支配株主への配当金の支払額	—	△29
その他	△17	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205	△310
現金及び現金同等物に係る換算差額	251	177
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△659	798
現金及び現金同等物の期首残高	9,776	10,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,116	11,206

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当社及び一部の国内連結子会社は、税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,932	2,714	23,647	—	23,647
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58	33	91	△91	—
計	20,990	2,748	23,739	△91	23,647
セグメント利益	397	13	411	0	411

(注) 1. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて30百万円、「海外」セグメントにおいて29百万円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において60百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,233	2,987	25,220	—	25,220
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42	40	82	△82	—
計	22,275	3,027	25,303	△82	25,220
セグメント利益又は損失(△)	1,591	△13	1,578	0	1,578

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて23百万円、「海外」セグメントにおいて8百万円の固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において32百万円であります。